

6月7日告示、16日投票

沖縄県議選

予定候補者紹介

行政職員39年実績いかす

日本共産党

那覇市役所に39年間、勤務し行政職員として抜群の実績を持ちます。勇退する玉城ノブ子県議の議席を引き継ぐため奮闘しています。国民健康保険の補助金事務を担当していた2007

年、国の交付金算定の誤りを発見。那覇市で10年間に5億円余りの不足額を生じさせたことを認めさせ、翌年追加交付されました。あかみね政賢衆院議員が国会で追及し、全国で100

億円以上の過不足が発覚する大問題に発展。こうした行政経験を生かし、玉城デニー県政を支えたいと意気込みます。性の多様性を尊重する「レインボーなは宣言」やパートナーシップ登録制度の実施に尽力しました。関係を公的に認められた同性カップルが泣いて喜ぶ姿を見た時、「これが当たり前の人権なんだ」と実感。「沖縄をジェンダー平等の先進地にしたい」と語ります。

糸満市区(定数2)

上原トクイチ回〇候補(63)新



【プロフィール】 1960年生まれ。琉球大学卒業。那覇市役所に39年勤務

平和行政・基地問題の担当課長として故・翁長雄志那覇市長(当時、後に県知事)を支えたことも。保守政治家ながらも辺野古新基地建設に反対する強い信念に触れました。

日本共産党に入党したのは、沖縄戦最後の激戦地となった糸満市で平和の心をつなぎたいとの思いから。犠牲者の遺骨が混じる南部地域の土砂を新基地建設に使う計画は断固阻止する決意です。

糸満市区は、上原予定候補と自民現職のほか、維新と無所属の新人2人が定数2を争う大激戦の見込み。

“デニー県政いじめ”を続ける自民と維新に議席を独占させるわけにはいかな

いと力を込めます。県議選に挑戦するきっかけは亡き妻が生前、玉城ノブ子県議に後継としてトクイチロー氏を推薦したことです。「妻の思いをつなぎ糸満市民の宝の巖席を必ず」

(しんぶん赤旗 2024年3月22日より)